



大西脳神経外科病院だより 第13号

ぶれいん

発行日:平成18年6月吉日

発行人:学術図書委員会

発行責任者:大西 英之

編集責任者:吉野 孝広

大西脳神経外科病院の理念

生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する。

大西脳神経外科病院の基本方針

生命と人権を尊重した医療を実践する。

神経疾患の専門的・高度医療を実践する。

常に新しい医学の修得に励む。

救急医療は医療の原点と考え、24時間対応する。

地域の医療機関との連携を密にし、地域協力型の医療を志向する

職員の自己実現のために

特命看護部長 今井 一子



遅咲きの桜も散り終えて、若葉のシーズンになりました。年度初めはいずれの職場も、退職という別れがあり、また就職という出会いがあります。私もその中の一人ですが、以前は医療相談・地域医療連携室のお仕事をさせて頂いていました。今回は特命看護部長の役割を頂き看護部のお仕事をさせて頂いています。特命の内容はナースマネージャーといいますが、看護師が家庭に引きこもってしまったり、他職種に転職したりということが無いように、職場環境を整えたり家庭と仕事の両立を図ったり、その他、支援の方法を模索し対策を考えるといったようなことが役割でしょうか。看護部へは4月に看護師、介護福祉士、クラークあわせて18名の新入職員がありました。「先ずは、新旧合わせて退職者を出さないように」との看護部の方針でスタートしました。当院は脳神経外科の専門病院ですから次々と手術が入ります。また、在院日数13日を維持していくためには密度の高い看護を行いその

中で成果を出していかなければなりません。当院は急性期医療の中核病院として高い評価を頂いておりますが、「看護に対してもよい仕事をしているようですね」と高い評価が聞かれます。病院の理念と基本方針の下、医師を助け、看護独自の役割としても患者様或いはその御家族の方から感謝される仕事ができる大西脳神経外科の看護師は素晴らしいと思います。それだけに互いに喜び合え、そして自分自身も人間として成長できるやりのある職場にしていかなければと思います。

今回診療報酬の改定がありましたが、当院でも看護師配置は1.4:1を目指します。看護師の人数が多くなれば看護独自の仕事に時間配分がとれてもっと患者様に喜んで頂ける仕事ができるはずです。脳神経外科における急性期看護の中で感動や喜びをいただけることに感謝し、専門職業人として、また人間として大きく成長していけるよう仕事を通して自己実現が図れるように支援していきたいと思っています。

平成18年度診療報酬改定

医事課 課長 川中 雅彦



2年に一度の診療報酬改定が、本年も実施された。ここ数年はマイナス改訂が続き、病院経営には厳しい現状である。今回はマイナス3.16%を基本としており、過去最大の下げ幅である。改定は国の方針を受け、一定の方向が見えるものであるが、病床数の削減を軸に今回の策定を実施しているようであるため、今回は急性期病院に対しては、割と手厚い改定であったが、今回は、有床施設の根幹である入院基本料にメスが入った。

一見すると点数はプラスであるが、急性期病院で必須であると思われた、急性期入院加算・急性期特定入院加算が廃止された。急性期病院では、ランクアップしないと経営的にも苦しくなることは明らかであり、病床削減をせざるを得ない施設が今年の後

半では発生するであろうと思われます。そうすると職を求める看護師を雇い入れた病院が入院料のランクアップを図れるという構図を国が描いているようである。これにより社会的入院を無くし、医療費の抑制を狙っているように思われる。

食事においては、適時適温、管理栄養士による管理は当たり前との事で、特別管理加算の廃止、食事代についても、1食ずつの算定（以前は1日に1食でも摂れば1日3食分の算定）

手術においては、一定の症例数をクリアすれば基本点数に0.5加算であったが、加算の廃止。とどれをとってもかなり厳しい改定（改悪）である。

外来においては、紹介加算の廃止。など暗い話題ばかりであるが、新設では、救急医療管理加算・医療安全対策加算・褥瘡患者管理加算・栄養管理実施加算（NST）の対象期間の拡大と今回の脳外科での目玉は、脳卒中ケアユニットが挙げられる。

当院では、地域に根ざした急性期病院として、厳しい状況ではありますが、院長を中心に、全職員一致団結して取り組んでいきます



3名の医師が新たに入局されました！

三重をはなれて

医師 久我 純弘

私は昭和59年に、三重大学医学部の脳神経外科に入局後、三重県外の施設で勤務するのは、今回が初めてです。国内有数の手術件数を誇る当院のアクティビティに触れ、身の引き締まる思いとともに忙しさに右往左往するうちに、あっという間に1ヶ月が過ぎてしまったのが実感です。まだまだ院内のスタッフの方々の名前も覚えられず、システムも十分把握できていませんのでご迷惑をかけることも多々あるかと思いますがよろしくお願いします。



新しい環境で

医師 鈴木 夕希子

思い切って兵庫県に来て1ヶ月が経ちました。初めての土地、職場、子供が小学校・・・と慣れない環境の中であっという間の1ヶ月でした。1ヶ月経ってスタッフの方の顔もかなり覚え、働きやすい環境ですし、須磨もすごく住みやすいところで、子供も楽しく学校に通っています。ここに来てよかった・・・としみじみ。麻酔科科長という重い肩書きに負けずに、兵庫が安住の地となるようずっと頑張っていきたいと思えます。

はじめまして

医師 田中 宏知



はじめまして、卒後三年目の田中宏知です。この四月から大西脳神経外科病院でお世話になっています。これまでは徳島大学病院、香川小児病院で初期研修をしてきました。私が脳外科を選択した理由は、脳という臓器に興味があったこと、それから徳島大学、香川小児病院の脳外科があらゆる面ですばらしかったことです。まだまだできないことも多いですが、必要以上にせらずに毎日を大事に勉強していきたいと思います。

新入職の方々に抱負、自己紹介などコメントを頂きました。

☆ 2006 NEWCOMER ☆

「抱負」

おうぎはら りつこ
看護師 扇原 律子

看護師を目指し勉強し、働き始め時間は経過したという状況にあります。専門病院でどのような治療、看護が実践されているのかわからない不安の中、日々の業務から疑問点を見つけ早めに解決していくことから始めようと思います。一日一日を大切に、目的、目標意識を持ち、老いていく親と自分を見つめ、世代の流れを意識し、患者様の家族やそれに関わる方々をサポートし得る技術と知識を身につけて行きたいと考えています。

「両立」

きたぐち ゆみこ
准看護師 北口 愉味子

私は正看護師の資格を取るために、現在看護学校に通いながら勤務しています。私自身、病院で勤務することも初めてで、不安だらけの上に勉学もあり、不安の日々を過しています。このような状態ですが、自分なりに頑張り両立して行きたいと思います。宜しくお願いします。

「宜しくお願いします」

ますだ えみ
看護師 増田 江美

この4月から3病棟に配属となり、1ヵ月が過ぎました。学校を卒業してからも4年が過ぎその間、脳外科、特養やデイサービス、訪問看護、民間救急サービス、一般病院など経験してきました。そのうちやはりもう一度深く関わりたいと感じたのは脳外科でした。まだまだ足りない知識と経験を増やしつつ、救急で来られた患者様が転院、退院後どのような生活を送られるのかを踏まえた、今しか出来ない看護が出来るように頑張りたいです。まだまだ未熟ですが、宜しくお願いします。

「はじめまして」

ぶしすえ ゆうこ
看護師 武士末 裕子

入職日、周りを見回すと、若い人達ばかりで熱気を感じました。年齢別に体力的にも心配は尽きませんが、とにかく頑張るしかないと思って毎日過しています。脳神経外科は初めてですが初心に戻り色々な新しいことを吸収し、患者様に喜んで頂けるよう看護して行きたいです。ご指導のほど宜しくお願いします。



病院玄関にて撮影 皆さん頑張ってください

「あせらず、やすまず」

臨床放射線技師 いがわ ゆうじ 井川 裕史

3月、大阪の学校を卒業し、4月より診療放射線技師として就職しました。実家は愛媛県です。実家の近くにも海があり、ここは第二の故郷になりそうです。この地で、これから地域の皆様に信頼して頂けるような診療放射線技師として、また大西脳神経外科病院のスタッフとして“あせらず、やすまず”一生懸命頑張っていくますので宜しくお願いします。

「はじめまして」

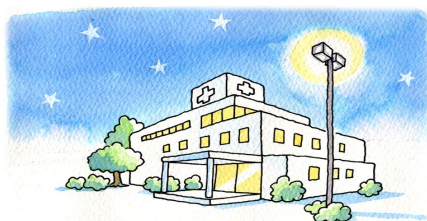
薬剤師 いたみ なおこ 伊丹 奈緒子

四月から薬剤部でお世話になっております。趣味は映画鑑賞と犬の散歩。今後の目標は料理が出来るようになること、そして何より早く一人前の薬剤師になって仕事が出来るようになることです！！毎日が新しい発見でわからないことも多く、皆様に迷惑をかけることもあるかと思いますが、ご指導のほど宜しくお願いします。

「新しい環境」

介護福祉士 つつい みゆき 筒井 三由希

私はこれまで、特別養護老人ホームで働いてきました。私自身病院とはほとんど縁が無く、医療現場は何もわかりません。今回、脳神経外科という専門病院で働かせて頂くので疾患や症状など、少しでも学んでいければと思っています。ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、宜しくお願い致します。



「看護師になって」

看護師 ふじさき なぎさ 藤崎 なぎさ

今年、看護学校を卒業し、晴れて看護師になることが出来ました。看護師になれたという喜びと、もう学生ではないんだという責任感もあり、期待と不安でいっぱいです。しかし、師長さんをはじめとする病棟スタッフの方々に優しくご指導していただき、とても心強く思っています。少しでも多くのことを知り、学び、そして身に付け、自信を持って看護をしていけるように、これからも頑張ります。

「一歩ずつ」

外来クラーク めんだに けいこ 面谷 京子

皆様始めまして。この度御縁あって当院へ入職させていただきました。月日が経つのも早く、もう一ヶ月が過ぎました。入院当初から外来クラークとして、右も左も解らずいろいろなことを諸先輩方に教わりながら“一歩ずつ”をモットーに前進中です。一日でも早く環境に慣れたいと思いますので、何卒長い目で見守ってください。宜しくお願いします。



「大西脳神経外科病院の一員として」

コンシェルジュ はた たかこ 畑 貴子

はじめまして。4月より病院コンシェルジュとして入職しました、畑貴子と申します。正面玄関に立ち総合案内をするようになってからまだ間もないのですが、毎日様々なご質問を受けます。即答できないことが多く、悔しい思いをしております。これから経験と知識を増やし、質問や苦情に柔軟且つ臨機応変に対応が出来るよう努めて参ります。宜しくお願いします。

「入職後一ヶ月経って」

准看護師 きのした ゆかり 木下 由佳里

2週間の研修後に病棟での勤務が始まり1ヶ月が過ぎました。学校を卒業し1からのスタートとなり、わからない事、戸惑うことばかりの毎日です。業務への責任の重さを病棟で感じ不安だと思っておりますが、先輩の看護師の皆さんを中心に同じ病棟スタッフからの指導を受け、とても充実した日々が送れていると思います。

「介護福祉士の仕事」

介護福祉士 さかぐち みどり 坂口 緑

2階病棟への配属となりました介護福祉士の坂口緑です。3年近く介護職から離れていた為、また1からのスタートだと思っています。病院という初めての職場で、以前の施設での仕事内容と全く違うこともあり、緊張と戸惑いの毎日ですが、この新たな経験をプラスに出来るように看護師の方々からご指導して頂き、介護面でお役に立てるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

「大西脳神経外科病院に入職して」

はまたに よしみ
准看護師 濱谷 好美

4月に大西脳神経外科病院に入職して約1ヵ月になります。毎日があっという間に過ぎて行き、ただ月日だけが流れているような気がして、焦りで一杯です。

先輩ナースのテキパキした動き、知識の深さに感じ、私もついていけるように日々勉強し、努力していきたいと思っています。

「患者様の立場に立って」

かたおか みちこ
介護福祉士 片岡 道子

この度、病棟勤務となり患者様の身辺のお世話をさせて頂くことになりました。病院での勤務は初めてで医療の知識も乏しい私ですがどうぞ宜しくお願い致します。

私は患者様の様々なストレスを最低限にし、入院生活を過して頂けるような介護を目指したいと思っています。患者様がご自分の治療に専念され、余計な心配や気遣いをされることが無いような介護を身近でお世話させて頂く私たちが一番に心掛けていきたいです。

「テキパキとケア出来る様に」

きとう のりえ
准看護師 鬼頭 紀恵

経験も無く、初めてのことばかりで不安な毎日をしています。脳の解剖から疾病、観察の方法など勉強し覚えなくてはいけないことが多く大変ですが、一日も早く慣れて、先輩方のようにテキパキと患者様のケアが出来るように頑張りたいと思いますので、これからもご指導宜しくお願い致します。

「看護師としての抱負」

やまかわ ゆか
看護師 山川 由香

私はこの春、加古川市看護専門学校を卒業し、念願の看護師免許を取得することができました。准看護学校を2年、市看を定時制で3年と合計5年掛かりました。なので喜びもひとしおで、晴れて看護師となり、大西脳神経外科病院で働けることが何より嬉しい限りです。入職してはや1ヵ月が経ちますが本当に忙しく動き回っています。臨床の現場というのはとにかく忙しい、しかし、患者様との関係を構築させていくためには「忙しい」は禁句としていきたいと思っています。

忙しいという言葉に逃げず、いつでも相手のために汗を流し、また相手を理解し受け止めていくことが看護の原点であり重要なことだと思います。この思いを大切に今後の看護師としての道をしっかり歩んでいきたいと思っています。

「未知の世界」

ささき きみ
看護師 佐々木 貴美

大西脳神経外科病院に勤務し約1ヵ月が経過しました。いままでとは全く違う分野で緊張と不安の中で毎日を過しています。分野は違っても看護の基本は同じでありベッドサイドの看護を目指し患者様と関わっていき、色々な急性期看護を学んで行きたいと思っています。

「はじめまして」

しげやま がく
看護師 茂山 学

私が入職して1ヶ月が経ちました、脳神経外科どころか病棟での看護経験も無く、初めての経験となります。今はただ日々の業務に流される毎日です。一日も早く病院の環境になれ知識、技術共に向上させ、十分な看護を患者様に提供していけるように頑張りたいと思います。皆様宜しくお願い致します。



「まごの手クランクを目指して」

きら さおり
病棟クランク 吉良 里織

4月1日から3階病棟クランクとしてお世話になっています吉良里織です。初めて病院勤務、新しいことの連続で智恵熱が出そうです。約1ヵ月のお世話になって、思っていた以上の看護師さんたちの忙しさに驚きました。今はまだ多くの方に助けていただき業務をしている状態ですが、少しでも早く仕事を覚えて立ち立ちし、かゆい所に手が届く「まごの手クランク」を目指して頑張りますので、よろしくお願いします。

「介護とは」

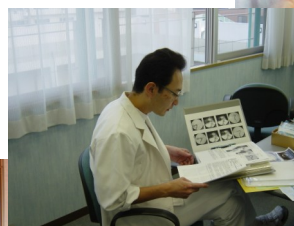
えぐさ みか
介護福祉士 江草 美佳

介護福祉士は医師や看護師のように病気や外傷などを治療することは出来ないが、手術や薬では治せない部分を緩和することは出来るとおもう。個々の患者を尊重した温かな介護サービスを提供していく為にも、基礎となるべき介護技術を得ていかなければならない。その場限りの経験として流さず、日々の蓄積を土台にしながら、広い視野を持って行動できるように心掛けていきたい。一人ひとりとの出会いを大切に初心を忘れない介護士であり続けたい。

物部先生お疲れ様でした。

開院当初から大西脳神経外科病院の運営に深く関わってこられ、現在の病院発展に貢献された物部健彦先生が5月末にて退職されました。

医療に携わる者として、いやそれ以上に人として、尊敬できる先生が病院を去る事は非常に残念ですが、今後のご活躍と更なる躍進をお祈りします。私たちも物部先生が残して下さった多くの財産を糧に、頑張っていかなければならないと思います。



物部先生が私たちに宛てた「人に優しい病院であって下さい」のお言葉。身に沁みて、考えさせられました。

関心

梅雨とは、六月から七月中旬にかけて、朝鮮南部・長江下流域から、北海道を除く日本列島に見られる雨期のことで五月雨（さみだれ）ともよばれる。

梅雨は、中国から梅雨（ばいう）として伝わり、江戸時代あたりから「つゆ」と呼ばれるようになった。

「日本歳時記」には、「此の月淫雨ふるこれを梅雨（つゆ）と名づく」とある。

中国では、黴（かび）の生えやすい時期の雨という意味で、初めは「黴雨（ばいう）」と呼ばれていたが、カビでは語感が悪いと同じ「ばい」で季節に合った「梅」の字を使い「梅雨」になったとする説や、「梅の熟す時期の雨」という意味で、元々「梅雨」と呼ばれていたとする説などがある。

日本で「つゆ」と呼ばれるようになっ

「梅雨」

た由来は「露（つゆ）」からと考えられているが、梅の実が熟し潰れる時期であることから「潰ゆ（つゆ）」と関連付ける説もあり、梅雨の語源は未詳部分が多い。（語源由来辞典より一部引用）

気象庁によると、6月1日各地の最高気温は、静岡県浜松市で34度、甲府市32.5度、京都市31.7度など真夏並みの気温が観測された。6月にこの気温では7月、8月と先が思いやられる。温暖化により日本の四季が二季になっている、ある学者は亜熱帯気候に変わりつつある、と言っている・・・かえるの鳴き声も、紫陽花の風景も時代と共に少なくなっている、風情、情緒に安らぐ時間を見つけないのも一苦労の近頃である。

編集後記

ついにサッカーワールドカップが開幕した。日本代表がどんな活躍を見せてくれるのか期待が膨らむ。数ヶ月前にはWBC（ワールドベースボールクラシック）で日本代表が優勝し、国中がその栄光を讃えた。いつもは見たこともないような「愛国心」がこの時ばかりは何処からとも無く現れ、インフルエンザの様に一時の熱に沸き立つ。スポーツだからこそ純粋になれる。国の代表を応援するのも「愛国心」に違いはない。

昨今「愛国心」論争がいたるところで巻

き起こっているが、論争するほどのことかどうか疑問である。言葉自体が堅苦しく強制的な感じもする、しかし「日本が好きですか」という問いに「はい」と答えるだけで愛国心としては十分なように思える。

愛国心を仕事と置き換えて考えてみると話は早い。仕事を愛する心、或いは職場を愛する心は持っているだろうか。自分で選んだ仕事、職場が「好きです」といえるように、一人ひとりが職場の代表者である自覚を持って仕事に望みたい。

（吉野）

